

01. » SOUPHOLIC

前オーナーから引き継ぎ夢の飲食店経営 自分の思いから新たな軸を作る

秋田の食材を使ったスープで
体と心を健やかに。
広い世界で新たな挑戦



オーナー 露崎 由美子

SOUPHOLIC

〒010-0001
秋田市中通6-9-10-C
TEL:018-834-7700
<https://www.soupholic.com/>



HP



雇われるのではなく、自ら事業をやりたい

秋田市民市場のほど近くにあるスープ専門店『SOUPHOLIC』。令和6年4月、前オーナーから事業を引き継いだのは、元高校教師という経歴を持つ露崎由美子さんだ。露崎さんは子育てとの両立の難しさから、10年以上前に高校教師から実習助手になり、教育分野での仕事を続けていた。長く教育現場に携わる一方、より広い世界を見たい、雇われる身ではなく自ら事業をしてみたいという夢を抱いていた。そんな中、秋田商工会議所の「あきた起業塾」に参加し、「秋田県後継者人材バンク」にも登録し、飲食店の事業承継の情報を探していたところ、SOUPHOLICが引き継ぎ先を探していることを知ったという。引き継ぐにあたり、業態は変えないこととし、半年ほどかけて前オーナーからスープのレシピや店のオペレーションについて研修を受けた。露崎さんにとっては、飲食店は未経験。基盤のあるお店を引き継ぐことでリスクを減らしたいと考えていたという。

ボディコピーを整え、考えを整理できた

露崎さんが実際に店の運営を始めてみると、メニューが多く、オペレーションを圧迫していることに気がついた。何をどう整理し、進めていけば良いのか。そんな思いを抱き、引き継いだ翌月の5月によろず支援拠点に相談をした。コーディネーターに現状を伝え、お店のイメージやブランディングを整理し新たなメニューの構想を作っていくことになった。そこで作成したのが店舗のコンセプトとなるボディコピーだ。「秋田の食材を使って健やかな体と心を満たすスープを作り、提供したい」という露崎さんの思いが明文化された。それを基にスープの種類を増やし、更にスープに合うようなメニューを考案、リニューアルした。また使用する食材も秋田県産食材を使い、季節感を意識している。

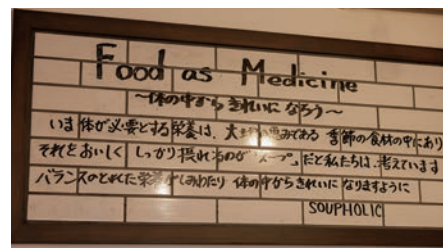
今後は平日の客数を伸ばす工夫や、繁忙期にスタッフを増やせるよう体制を整えたいと語る露崎さん。「まだまだ一年生、これからです」と決意を見せてくれた。



店のイメージは概ね変えずに、
コンセプトを一新して運営に臨んでいる。



さまざまな農家と繋がり仕入れた
こだわりの秋田県産の野菜を使ったメニューを提供。



体が求める栄養素をスープで提供したいという
露崎さんの思いが込められているボディコピー。